

平成21年7月27日

各 位

上場会社名 山陽特殊製鋼株式会社
 代表者 代表取締役社長 藤原 信義
 (コード番号 5481)
 問合せ先責任者 経営企画部長 満田 光信
 (TEL 079-235-6005)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年4月30日に公表した第2四半期累計期間の業績予想について、下記のとおり修正いたします。

記

平成22年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想数値の修正 (平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A) (平成21年4月30日)	百万円 36,000	百万円 △5,000	百万円 △4,500	百万円 △2,700	円 銭 △16.72
今回発表予想 (B)	38,000	△8,500	△8,200	△5,100	△31.59
増 減 額 (B-A)	2,000	△3,500	△3,700	△2,400	—
増 減 率 (%)	5.6	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	98,972	7,381	7,257	3,628	22.38

平成22年3月期第2四半期累計期間の個別業績予想数値の修正 (平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A) (平成21年4月30日)	百万円 34,000	百万円 △4,700	百万円 △4,300	百万円 △2,500	円 銭 △15.49
今回発表予想 (B)	36,000	△8,400	△8,300	△5,200	△32.21
増 減 額 (B-A)	2,000	△3,700	△4,000	△2,700	—
増 減 率 (%)	5.9	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	—	—	—	—	—

平成22年3月期第2四半期累計期間の業績予想数値の修正理由

昨年来の世界経済の急減速に直面し、当社グループでは昨年末から急減産に突入いたしましたが、この急減産の影響により、高コストの在庫が蓄積され、当初想定を上回る売上原価の上昇を招きました。また、第1四半期累計期間において、上述の原因から当初想定外の「棚卸資産評価損」が約19億円発生したことなどにより、第2四半期累計期間における営業利益、経常利益および四半期純利益は、前回発表の予想数値を下回る見込みとなりましたので、業績予想を修正いたします。

なお、こうした高コストの在庫や「棚卸資産評価損」による影響は、下期以降解消に向かうと考えられるため、平成22年3月期通期の業績予想数値につきましては、変更いたしません。

※上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであります。予想には様々な不確実な要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおきください。

以 上